

令和6年度 政策チェックアップ評価書

施策目標：22 国際競争力・地域の自立等を強化する道路ネットワークを形成する

施策目標の概要及び達成すべき目標

国際競争力・地域の自立等を強化するため、国際物流に対応した基幹ネットワークや日常の暮らしを支える生活幹線道路ネットワークを構築する。

業績指標

指標番号	業績指標名
71	三大都市圏環状道路整備率 *
72	道路による都市間速達性の確保率 *

業績指標の分析

(71) 三大都市圏環状道路整備率 *

目標達成状況の評価 B

	初期値	実績値					目標値
	R2年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
実績値	83%	83%	84%	84%	84%	84%	89%
年度ごとの目標値		—	—	—	—	—	

(事務事業等の実施状況)

迅速かつ円滑な物流の実現などのため、三大都市圏環状道路等を中心とする根幹的な道路網を重点的に整備した。
令和6年度末供用延長約 1,023km (／約 1,200km)

(その他の外部要因の状況)

—

(目標の達成状況に関する分析)

業績指標の実績値は令和2年度の83%から令和6年度末に84%まで向上しているものの近年は横ばいで推移しており、現在の達成率は17%と、目標値に対して順調ではないことから、Bと評価した。実績値が横ばいとなっている要因としては、当初想定していた地質条件との違いによる工法変更等といった現地課題への対応等による事業の遅延が考えられる。

(課題の特定)

当初想定していた地質条件との違いによる工法変更等といった現地課題への対応等により遅延が生じている事業がある。

(72) 道路による都市間速達性の確保率 *

目標達成状況の評価 B

	初期値	実績値					目標値
	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
実績値	57%	57%	57%	59%	57%	—	63%
年度ごとの 目標値		—	—	—	—	—	

(事務事業等の実施状況)

拠点間を道路ネットワークでつなぎ、距離の制約を克服し、地域・拠点の連携を確保するため、高規格道路の未整備区間解消に向けた整備を実施した。

(その他の外部要因の状況)

—

(目標の達成状況に関する分析)

業績指標の実績値は、令和元年度から令和5年度にかけて改善しているとはいえ、進捗は順調ではないことから、B と評価した。高規格道路の整備延長は着実に伸びている一方、交通の流れの変化や新たな速度低下箇所の発生等の様々な要因が影響し、実績値が横ばいになっていると考えられる。

(課題の特定)

道路による都市間速達性の確保率は、交通の流れの変化や新たな速度低下箇所の発生等の様々な影響を受けるものである。目標の達成に向けて、引き続き高規格道路の未整備区間の解消等を着実に推進していく必要がある。

評価結果

(目標達成度合いの測定結果)

④ 進展が大きくない

(判断根拠)

業績指標 2 個のうち、B が 2 個であった。
業績指標 71 は初期値から実績値が向上しているものの目標達成率が想定を下回っており、業績指標 72 は実績値が横ばいの推移となっているため、本施策目標は「④進展が大きくない」と判断した。

(施策全体の総括分析・今後の取組の方向性)

本施策について、現地課題、地元の調整状況等によって事業遅延が生じている事業があること等により業績指標の実績値が想定を下回ったため、目標達成度合いとして進展が大きくないと評価した。一方、三大都市圏の環状道路整備や未整備区間の解消は施策目標達成に寄与するものであることから、引き続き、三大都市圏環状道路等を中心とする根幹的な道路網や高規格道路の未整備区間の解消を着実に推進することで、国際物流に対応した基幹ネットワークや日常の暮らしを支える生活幹線道路ネットワークを構築する。

外部有識者のコメント

環状道路の意義を知らない一般市民が多く、事業費の高騰も相まって整備が進みづらい環境にあることが推察される。事業化、工事のいずれにも膨大な時間を要する施策であることから、地元の理解を得ること等の課題解決にも評価をして、進展を広く知らせていく必要がある。(国土交通省政策評価会 鈴木 美緒)

評価実施時期

令和 7 年 8 月

担当部局名・作成責任者名

・施策目標 22

道路局 企画課 道路経済調査室 室長 依田 秀則

・業績指標 71

担当課：道路局企画課道路経済調査室（室長 依田 秀則）

・業績指標 72

担当課：道路局企画課道路経済調査室（室長 依田 秀則）

関連事務事業等

番号	事業名	予算事業 ID
1	道路事業（補助等）	004176
2	有料道路事業等	004177

参考指標の達成状況

施策目標：22 国際競争力・地域の自立等を強化する道路ネットワークを形成する。

参考指標

(参 104) 高規格道路のミッシングリンク改善率

	初期値	実績値					目標値
	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
実績値	0%	0%	9%	17%	23%	30%	約 30%
年度ごとの 目標値		—	—	—	—	—	

担当部局名・作成責任者名

・参考指標 104

担当課：道路局企画課道路経済調査室（室長 依田 秀則）

業績指標登録票

【政策目標】	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化		
【施策目標】	22 国際競争力・地域の自立等を強化する道路ネットワークを形成する		
【業績指標】	(71)三大都市圏環状道路整備率*	業績目標	
		初期値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
		83% (令和2年度)	89% (令和7年度)
【指標の定義】	<p>三大都市圏(首都圏、中部圏、近畿圏)の環状道路の計画延長(約1,200km)に占める供用延長の割合</p> <p>三大都市圏環状道路整備率 $= \frac{\text{三大都市圏における環状道路の供用延長}}{\text{三大都市圏における環状道路の計画延長}}$</p>		
【目標設定の考え方・根拠】	計画期間内に、開通が見込まれる区間が供用した場合の目標値を設定。		
【外部要因】	地元の調整状況 等		
【他の関係主体】	・NEXCO、首都高速道路(株)、阪神高速道路(株)(会社区間の事業進捗 等)		
【重要政策】	<p>・成長戦略フォローアップ(令和2年7月17日) 三大都市圏環状道路等の整備推進や空港、港湾等へのアクセスの強化など規格の高い道路ネットワークの強化を図る(6. (2) iv))</p> <p>・社会資本整備重点計画(令和3年5月28日)「第3章に記載あり」</p>		
【備考】			
【担当課】	道路局 企画課 道路経済調査室		
【関係課】	道路局 国道・技術課 道路局 高速道路課		

業績指標登録票

【政策目標】	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化		
【施策目標】	22 国際競争力・地域の自立等を強化する道路ネットワークを形成する		
【業績指標】	(72)道路による都市間速達性の確保率*	業績目標	
		初期値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
		57% (令和元年度)	63% (令和7年度)
【指標の定義】	<p>主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度(都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したもの)60km/hが確保されている割合</p> <p>道路による都市間速達性の確保率 = 都市間連絡速度60km/h以上の主要都市等を結ぶ都市間リンク数 ÷ 都市間リンクの総数</p>		
【目標設定の考え方・根拠】	過去の実績より、都市間速達性の確保率の改善傾向を踏まえ設定。		
【外部要因】	高規格道路等の事業進捗等		
【他の関係主体】	NEXCO(会社区間の事業進捗等)		
【重要政策】	<p>・社会資本整備重点計画(令和3年5月28日)</p> <p>主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度60km/hが確保されている割合を令和7年度までに63%とする。(第3章第2節3.)</p>		
【備考】			
【担当課】	道路局 企画課 道路経済調査室		
【関係課】	道路局 国道・技術課 道路局 高速道路課		